

「ご近所のみなさん。こちらは日本共産党です。」

安倍首相は、最近、共産党など野党の共闘の始まりに、「今度の選挙は、自公対民共の対決だ」などと言いました。

昨年、安倍自公政権は、集団的自衛権は行使しないという歴代政権の憲法解釈を百八十度転換し、憲法を踏みにじり、安保法制(戦争法)を強行。自衛隊が海外で、アメリカの戦争に参加する危険な道を開きました。憲法に違反し、立憲主義を破壊し、民主主義さえ踏みにじる法律です。こればかりは、絶対に放置しておくことはできません。

みなさん、今度の野党共闘は、戦争法の強行など、「暴走する安倍政権を止めたい」と願う市民、国民のみなさんの運動が、政党を動かし、作り出したものです。だから、たたかいは、「自公勢力対5野党プラス市民・国民」のたたかいではないでしょうか。

野党5党、共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党は、安保法制(戦争法)廃止と、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回、そして、安倍政権打倒に協力すること。この「安保法制廃止」と「立憲主義・民主主義の回復」という大義のもとに結束しているのです。「立憲主義を取り戻す」、これは、あれこれの政策とは次元の異なる、国の土台を再建する仕事ではないでしょうか。これ以上の国民的大義はありません。この大義を実現するために、立場の違いをこえ、政党・団体・個人が力を合わせる事が大切です。野党共闘を成功させ、憲法無視の安倍政権をたおしましょう。そして、憲法の平和主義・立憲主義・民主主義をつらぬく新しい政治をいっしょにつくりましょう。

いま、この合意をもとに、参議院選挙1人区で、野党の共闘がすすんでいます。熊本、宮城、長野、徳島・高知、沖縄で共闘が成立。候補者の一本化ができました。その他の県でも、共闘を求める市民団体などの後押しで、協議がすすめられています。安倍自公勢力と「野党プラス市民の共同勢力」という政治の対決構図がますますはっきりしてきました。日本共産党は、安保関連法(戦争法)廃止、立憲主義回復へ、各地で共闘実現に全力で取り組んでいます。

みなさん、いっしょに、戦争法廃止、新しい政治の実現に力を合わせましょう。

あわせて、戦争法廃止を求める2000万署名運動へのご協力も願います。

最後に、みなさん、この夏には参議院選挙があります。

今度の選挙では、憲法違反の戦争法を強行し、立憲主義を踏みにじった自民党・公明党、この安倍暴走政治に審判を下すことが求められているのではないのでしょうか。

日本共産党は、比例代表での躍進と野党共闘の勝利をめざすとともに、定数3の埼玉選挙区でも、自民・公明を少数派に追い込むために全力をあげています。日本共産党の伊藤岳は、安倍暴走政治にストップをかけ、戦争法の廃止と消費税の増税中止へ。平和とくらしを守るために全力をつくします。どうか、みなさんのお力をお貸し下さい。

日本共産党へのご支援、そして、日本共産党の「しんぶん赤旗」のご購読をお願いし、訴えを終わらせていただきます。ありがとうございます。